

『戦争当時の南風原小学校の様子を語る』



●1年で、全学年の児童が、1人1冊の読み聞かせを、先生が読み、児童が聞くという活動を行っています。また、児童が書いた絵や作文を、壁に貼って展示しています。この活動を通じて、児童の表現力や想像力を伸ばすだけでなく、戦争の悲惨さや平和の大切さについて学ぶ機会も提供しています。

【南風原小学校 全学年】六月一八日



学校応援隊はえぼる

できる人が・できることを・できるときに

南風原町学校支援地域本部事業

平和学習特集

(南風原小・南風原中)

鎮魂の季節6月、平和と命について学びました。

平成24年8月28日 第4号

『人生の先輩7名が戦争体験を語る』



●1年生のみなさん、戦争体験を語る方々から、戦争の怖さや、戦後の生活について話を聞きました。先生方も、戦争体験を語り、子どもたちに伝える役割を担っています。

【南風原中学校 1年生】六月一八日

●1年1組：熊本県での学童疎開時の、寒く・寂しく・ひもじかった体験を話す大城誠守さん(宇神里)



●1年4組：花城キヨさん(宇新川)は、「今の素晴らしい世の中に生まれて、自分たちは幸せと感じてほしい」と生徒に語りました。

●1年3組：赤嶺幸雄さん(宇宮平)「戦後の話もしたが生徒からは、復帰やドル紙幣についての質問もあり関心が高いと思いました。」

●1年2組：防空すきんを使い当時の様子を話す城間ミネ子さん(宇兼城)。生徒からは「戦争中は何を食べていたのですか？」等の質問もありました。



●1年7組にお孫さんがいる比嘉清子さん(宇兼城)は、「今まで胸に秘めていたものを、孫のおかげでみんなに話すことができ、ほっとしています。」と、形見の着物を見せながら話してくださいました。

●1年6組：「戦争で亡くなった人たちも100才まで生きたかったと思う。平和の礎には、友達の名前がいっぱいあります。戦争は生きている人も一生苦しい思いをします。」と語る末吉ツル子さん(宇宮平)。

●1年5組：「準備していた事を全部話すことができました。マラリアについての質問もあり、生徒のみなさんは熱心に聞いてくれました。伝えたいことが伝えられたと思います」と、宮城信敏さん(北丘ハイツ)

あなたも学校の応援団になりませんか？ **ボランティア募集中！**  
★未来を担う南風原町の子ども達を地域で育てましょう★

南風原町教育委員会  
生涯学習文化課  
TEL 889-0568